

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：大和市立草柳保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 田村 さとみ	定員（利用人数）： 130名（110名）
所在地：〒242-0021大和市中心6-8-27	
TEL：046-264-1919	ホームページ https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshik/hoiku/hoikuen/soyagi.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1977年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：大和市	
職員数	常勤職員：29名 非常勤職員：16名
専門職員	園長 1名 副園長 1名
	保育士 28名 保育士（非常勤）12名
	看護師 1名 保育補助（非常勤）2名
施設・設備の概要	保育室 6室 多目的室 1室
	トイレ 4ヶ所 調理室 1室
	事務室兼医務室 1室 調乳室 2室
	園庭 有 職員休憩室 1室

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】 子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none">健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだthatが育つように愛情と誠意を持った保育をします。一人ひとりの成長の芽を大切にし、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。子どもと保護者のおかれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い、子育ての喜びや楽しさを共感し合える保育を目指します。地域育児センターとして関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します。 <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none">健康な子どもみんなと楽しく遊べる子ども心豊かな意欲的な子ども
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>○保育内容の特色</p> <p>当園は、大和駅から徒歩13分程の住宅街に位置し、周辺には引地台公園をはじめ多くの公園が点在しています。子ども達は自分の興味、関心のある活動を意欲的に楽しんでいます。園庭では活発に戸外遊びを楽しみ、散歩にもたくさん出かけています。当園の特徴的な取り組みは以下の通りです。</p>

・子どもの主体性を大切にする保育の実践・・・保育所保育指針に基づき、子どもの主体性を大切にする保育の実践に取り組んでいます。子どもの興味・関心を捉え、その先の広がりを見通しながら保育環境を整え、子どもが意欲的に活動できるようにしています。三歳未満児クラスでは、遊びのコーナーを充実させ、一人一人がじっくり遊べるようにしています。幼児クラスではミーティングを行い、相手の意見も聞きながら、友達と協力して活動をやり遂げる体験を積み重ねています。異年齢児同士の交流も積極的に行っています。保育の振り返りに保育ウェブを活用するクラスもあり、子どもの興味・関心を可視化して保育環境を整え子どもが意欲的に遊びこめるような工夫に繋がっています。保護者にも保育のねらいや子どもの成長、発達を捉えた情報提供（ドキュメンテーション）を行い、子どもが主体的に活動している様子を伝えていきます。

・保育プロジェクトチームによる保育内容の充実・・・園内に運動遊び、絵画造形、環境、食育、絵本、特別支援保育のプロジェクトチームを作り、年間計画を立て活動し保育内容の充実を図っています。

○公立保育園としての特色

・障害のあるお子さんや要支援家庭の受け入れ等、多様な保育ニーズへの対応・・・医療的ケア児や障害のあるお子さんを多数受け入れています。障害のあるお子さんについては、保護者の意向を伺いながら一人一人の特性に応じた個別支援計画を作成し、関係機関と連携しながら丁寧な支援を実践しています。医療的ケア児についても、保護者、看護師、保育士、医療機関、その他関係機関と連携を図り、安全で衛生的な環境の下、適切なケアが実施できるようにしています。また複雑な背景を持った要支援家庭のお子さんも多数受け入れ、関係機関と連携しながらより良い家庭支援ができるよう努めています。また外国籍のお子さんについても固有の文化を大切にしながら受け入れを行っています。そしてすべての子ども達が互いに認め合い育ちあえるような自然な保育環境を整え、インクルーシブ保育を進めています。

・地域の基幹園としての地域育児センター事業の推進・・・地域育児センターとしての役割を担い、子育て支援担当保育士を中心に、子育て家庭の支援や地域住民と交流を行っています。育児相談、園庭開放（あそぼう会）、市ほいく課の栄養士と連携した保育園の給食体験（たべよう会）、育児講座等、地域に根ざした子育て支援事業を実施しています。

地域における虐待予防を目的として、地域子育て連絡会を開催しています。地域の民生委員、子育て支援団体、市所管課とともに地域における子育て支援事業や地域の親子に関する情報を共有し、より良い支援ができるよう努めています。

子育て支援担当保育士が定期的に近隣の認可外保育施設等へ訪問し、保育内容について情報共有したり保育の相談に応じ、保育の内容の質の向上に繋がるようにしています。

・大和市発達支援研修会の開催・・・市のほいく課及びすすく子育て課の職員、公立4園の特別支援保育研究会担当で、民間保育園を対象にした大和市発達支援研修会を開催しています。研修会を通じて民間園と交流し、ともに学び、大和市全体の特別支援保育に関する質の向上を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年7月1日（契約日） ～ 令和7年3月31日（評価結果確定日）
--------	---------------------------------------

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 子どもの主体性を尊重した保育の実践

子どもの発想を大切に、子どもたちが主体的、自主的に活動できるように環境を整えています。幼児クラスでは、「わくわくフェスティバル」のプログラムについて、自分たちでミーティングをして話し合いながら活動を決めています。園庭のジャングルジムで宇宙ごっこしていることをきっかけに、子どもたちは図鑑や絵本で調べて「宇宙ラボ」を作り、軌道を外れた土星を助けるストーリーを創り発表しています。自分たちで栽培したトウモロコシに虫が付き上手く実が付かなかった体験を、歌やダンスを創作して発表しています。さらに年少クラスに追加の発表会を企画し、チケットも作り実施しています。発想から制作まで、子どもたちが主体的に取り組み、生き生きとした自分を受け止めてもらう経験を重ねていくことにより、次の遊びへの意欲にもつながっています。

2) 公立保育園としての多様な保育ニーズへの取組

公立保育園として、地域の保育サービスや子育て支援など多様な保育ニーズに対応する役割を担っています。保育事業として、障害のある子どもの受入れ、医療的ケア児や要支援児の受入れなど専門性の高い保育の提供を行っています。地域における子育て支援として地域育児センター事業に取り組んでいます。地域の公園に出向き相談業務、地域の子育て向上のため民生委員や地域の各団体との連携を図り子育てサロンなどを支援し支え合う地域づくりを応援しています。保育園の専門性を生かし育児に関する悩みを抱えている保護者等の相談、園庭開放、地域育児講座の開催を実施し地域の子育てを応援しています。社会福祉協議会主催のサマースクールなどを通じて世代間交流や非定型的保育などの一時預かり事業も実施しており、地域に開かれた保育サービスの中心的な拠点となっています。

3) 子どもの人権擁護に対する高い意識

研修の一環として人権擁護のためのセルフチェックリストを実施し、実施結果について振り返りを行い、子どもに対する人権擁護について周知徹底しています。園では配慮や支援を要する子どもや家庭が多いこともあり、職員一人ひとりが子どもの人権擁護に高い意識を持ちながら、保育の実践に取り組んでいます。外国籍の子どもについては生活習慣や文化の違いに配慮し、子ども同士が認め合えるように努めています。

4) ICT化による事務業務の効率化の推進

来年度より、新たな保護者とのコミュニケーションツールを導入する計画であり、連絡帳のペーパーレス化やクラスの様子などの写真を掲載していくことを検討しています。事務負担の軽減化につながるICT化を推進し、保育の質の向上に充てる時間を増やしていくことが望まれます。

5) 子どもの主体性を育むための人材確保が期待されます

子どもの主体性を尊重した保育では、一人ひとりの個性を大切に、子どもの願いを受け止め、寄り添っていくことやそのための保育の環境整備が従来以上に求められています。主体性を育む保育を推進していくために速やかに人員確保できるよう関連部署と連携して取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、職員がグループに分かれて意見を出し合うことで、園の保育内容等を振り返り見直すことができました。保育や運営に関わることを様々な角度から検証する機会を持つことができ、とてもよかったと思っております。保育園が取り組んでいる、子どもの主体性を大切にする保育について高評価をいただいたことをこれからの糧にするとともに、運営、保育内容に関しての様々な課題も明確になったので改善できるよう努めていきたいと思っております。そして今後も行政機関としての公立保育園の役割を果たし、地域に根ざした保育を実施していきたいと思っております。保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。いただいたご意見、ご要望を真摯に受け止め、職員間で共有し今後のより良い保育運営に活かしていきたいと思っております。最後になりましたが、専門的な視点で評価し、ご尽力をいただいた評価機関様にも感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり